

# 当面の技術対策（畜産編）

令和6年7月15日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

## 1 暑熱時の対策

7月に入り、気温の高い日が増えてきました。昨年の暑さを受け、換気扇の増台やミスト・ソーカーシステムの導入などを行った農場もあるでしょう。それらの効果を確認すると同時に、基本的な栄養管理も徹底し、暑さに備えましょう。

### ○牛に食べてもらう工夫

- ・普段よりもこまめに餌寄せを行い、採食量の低下を防ぐ。
- ・夏場は飲水量も増加するため、水槽の掃除をこまめに行う。
- ・ミネラル分（鈹塩・重曹）の補給を行う。

### ○腐敗したサイレージには注意！

- ・サイレージの二次発酵を防ぐため、取り出し面を垂直にするよう心がける。また、直射日光が差し込むことによるサイレージの表面温度上昇を防ぐため、取り出し面にシートを垂らすなどの工夫を行う。
- ・ロールサイレージの場合は、食べ残しの放置による腐敗が採食量低下を招くため、こまめな清掃を行う。

## 2 抗生物質混入の防止

暑さや疲れから、作業者の注意力が低下しやすい時期です。抗生物質や血乳の混入事故を防ぐために、**治療牛へのマーキングを確実に行うこと**（濃いめにカラー Sprey をかけること・マークバンドが外れていないか確認すること）や**作業者間での情報共有**を徹底しましょう。

### <熱中症に注意！>

- ・のどが渇く前のこまめな水分補給・塩分補給を！
- ・こまめな休憩を取ることを！
- ・ほ場などで具合が悪くなった際に、すぐに家族と連絡が取れるよう、携帯電話・スマートフォンの常備を！